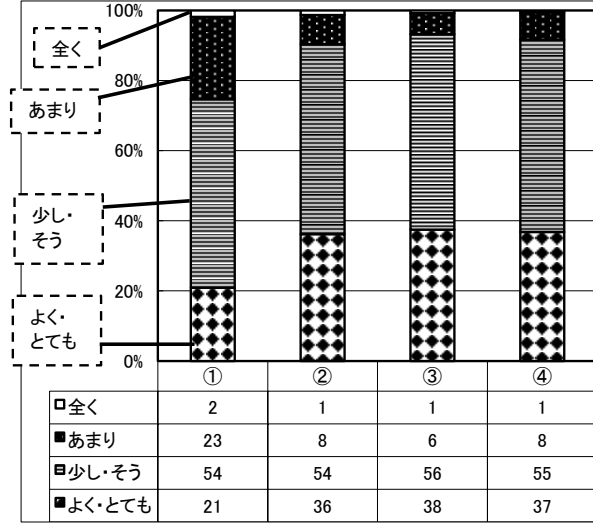


# 平成29年度 丸小を見つめて(保護者評価) 結果・考察

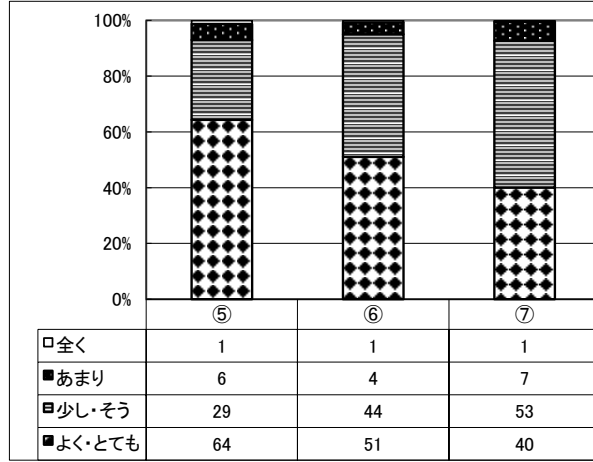
## ○確かな学力



- ① 子どもは、自ら進んで学習課題を見つけ、自分の力で解決しようとしている。
- ② 子どもは、友達の話の聞いたり、自分の思ったことや考えたことを伝えたりしながら、学習に取り組んでいる。
- ③ 子どもは、発達段階に応じた系統的な学びで基礎的な学力を身につけている。
- ④ 学校は、子どもたちの学びが計画的に積み重ねられていくように、職員が一体となって取り組んでいる。

②～④の項目に関しては、例年通り高評価となっていることから、児童の学習への構えは概ね良好ととらえられている。しかし、①の項目は、昨年の3割からやや改善されたものの、25%の保護者が「全く」「あまり」と答え、学習意欲や課題解決学習に課題を抱えているととらえている。今後も児童が進んで学習に取り組めるよう、指導の仕方を工夫していく。

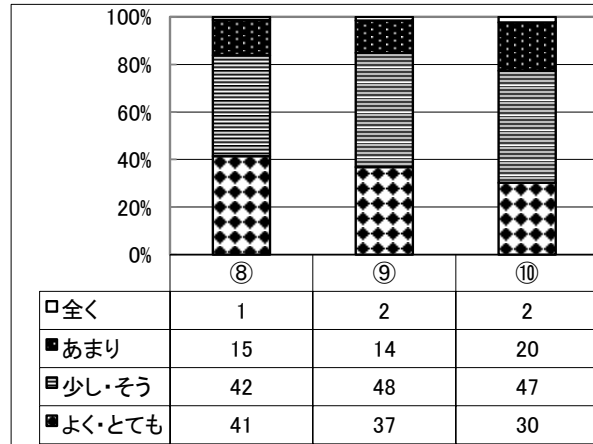
## ○豊かな心



- ⑤ 子どもは、毎日楽しく登校している。
- ⑥ 子どもは、お互いに助け合い、協力し合って学習や活動をしている。
- ⑦ 学校は、子どもの学年や状況に応じて、道徳の学習を進め、人権を尊重する精神を育もうとしている。

どの項目も昨年同様高評価となっている。⑤については、登校に不安を感じている児童がいることを忘れず、全ての児童が楽しく通えるよう、一人一人に寄り添った支援をしていきたい。また、⑦については、昨年以上に道徳に力を入れて取り組んでいることが、今年度も高評価を得た要因と考える。

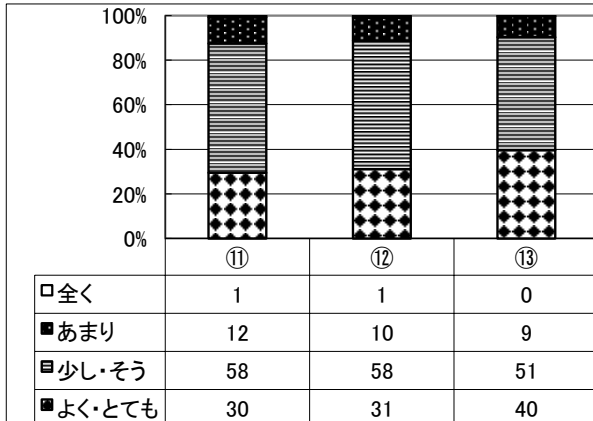
## ○健やかな体



- ⑧ 子どもは、体育の授業で学習カードを用いて学習したり、外で遊んだりして、自ら進んで運動しようとしている。
- ⑨ 子どもは、くすのき週間、歯みがき週間、学校保健委員会等の活動に参加することにより、健康的な生活をしようとしている。
- ⑩ 子どもは、健康や成長のために、栄養のバランスを考えながら食事をしようとしている。

⑧⑨は新設の項目だが、「よく・とても」「すこし・そう」が8割を超えている。⑩も8割近いが、昨年に比べると9ポイント減っている。一方⑬では学校の「『食』の学び」に関わる取組について高評価を得ている。学んでいることを日常での実践に結び付けることは今後の課題である。今後も家庭との連携を取りながら、「健やかな体」づくりに取り組んでいきたい。

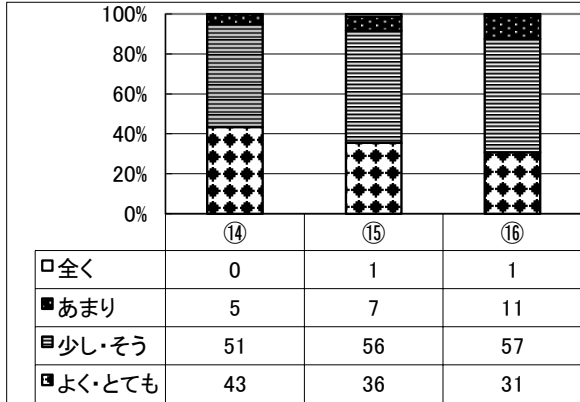
## ○児童指導



- ⑪ 子どもは、元気よく場に応じた挨拶をしている。
- ⑫ 学校は、生活や学習などの相談がある場合に、早期発見・早期解決のための対応がなされている。
- ⑬ 学校は、3か月毎にステップアップカードで学習や生活を振り返らせることで、子どもに自分を見つめて次の目標を設定してよりよい生活につながれるようにしている。

どの項目も「よく・とても」「少し・そう」が9割近い。ステップアップカードは本校の特色「四期制」の取組の一つである。長期休み前の個人面談でカードを活用していることが、⑬の高評価につながったと考えられる。挨拶については年間生活目標の重点として取り組んできた。小中連携事業でも、丸中ブロックの共通取組事項である。今後も地域、家庭と連携しながら気持ちのよい挨拶ができるように継続して指導していきたい。

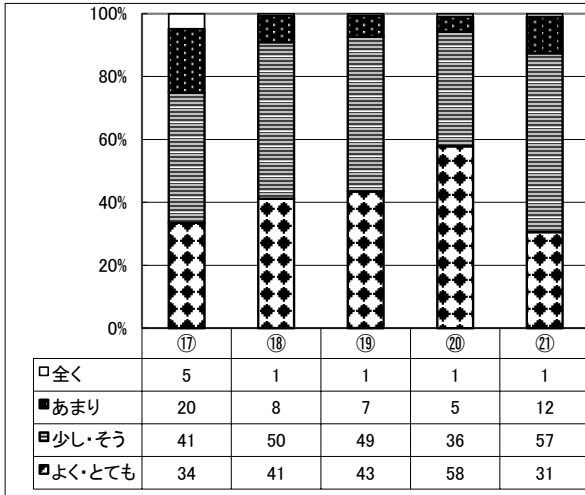
## ○特別支援教育



- ⑭ 学校では、備品・掲示物等を整理し、教室の学習環境を整え子どもの育ちに役立てている。
- ⑮ 学校は、だれもが安心して学校生活を送れるように個に応じた支援をしている。
- ⑯ 学校は、子どもたちの様々なケースに対して、チームで対応して解決している。

どの項目も昨年度と比較して、大きな変化はない。「少し・そう」「よく・とても」が9割を超えており、一定の評価を得ている。一方で、「よく・とても」のみに着目すると、3～4割と半数以下となることや、「あまり」「全く」の回答もある。誰もが安心して学校生活を送れるように、今後もより一層個に応じた支援を心がけていく必要がある。特別支援コーディネーターを中心に支援の形を考え充実させていく。

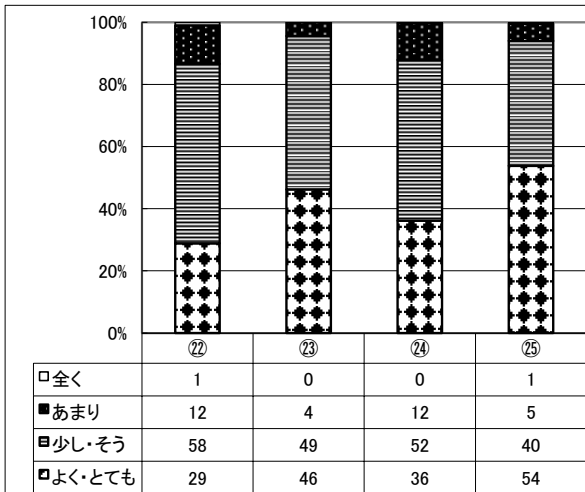
## ○地域連携



- ⑰ 子どもは、地域の行事（夏祭りやチルドレンサークル、自治会の行事など）に参加している。
- ⑱ 学校は、保護者や地域の方々と関わりをもって、「開かれた学校運営」になるように取り組んでいる。
- ⑲ 学校は、子どもたちの安全を守るために、地域や保護者との連携を深めている。
- ⑳ 学校は、メール配信等緊急時の連絡システムを確立し、整備を進めている。
- ㉑ 学校は、情報発信を密にし、家庭・地域からの意見を集約し反映している。

⑱～㉑の項目については、昨年同様「よく・とても」「少し・そう」が約9割を超えている。しかし、⑰の項目については、昨年に引き続き「よく・とても」「少し・そう」が7割程度にとどまっている。学校は、授業の一環で地域との関わりを多く持っている。学校での学びを家庭や地域に広げられるように働きかけをして、「ふるさと丸山台を愛する」児童の育成に取り組んでいきたい。

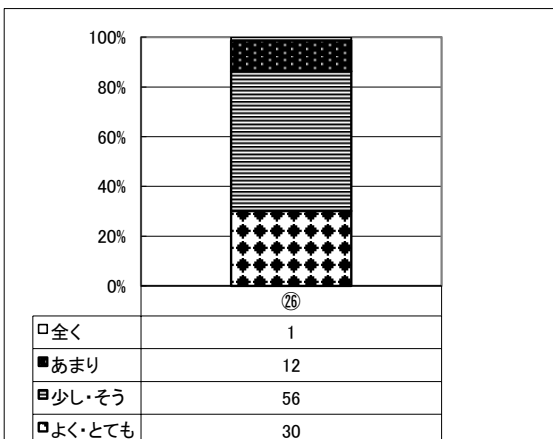
## ○キャリア教育



- ㉒ 子どもは、様々なキャリアをもつ人々から学んで、知識理解を深めている。
- ㉓ 学校は、学年の発達に応じた「『食』の学び」を通して、健やかな体と豊かな心を育てている。
- ㉔ 学校は、地域や様々な人との交流を通して、自分たちが住むまちの良さや伝統を感じている。
- ㉕ 子どもは、異学年交流（たてわり活動、幼保小連携、小中連携など）を通して、異学年の子どもたちと進んでコミュニケーションをとろうとしている。

㉒、㉓は、昨年同様「よく・とても」「少し・そう」が8割を超える高評価になっている。新しい項目である㉔や㉕についても8割を超えている。㉕の異学年交流については、本校が大切にしている特色ある教育活動の一つなので、児童が進んで他学年の友達ともコミュニケーションをとれるような活動を今後も大切にしていきたい。

## ○いじめへの対応



- ⑳ 学校は、いじめ基本方針に則り、定期的にアンケート（学校生活について 年2回、いじめについて 年2回）を実施するなどして、いじめの早期発見・早期対応に努めている。

昨年より評価が上がり、「よく・とても」「少し・そう」が8割を超えている。しかしながら、いじめをなくすためには、アンケートからの把握だけでなく、日常の児童の様子をつぶさに見たり、保護者からの情報を迅速、丁寧に取り上げたりする努力が必要である。今後も、「いじめゼロ」をめざして教職員一丸となって取り組んでいく。